

平成 29 年 11 月 27 日

保 護 者 様

大阪市立淀川中学校  
校 長 二 上 和 正  
PTA会長 森 下 孝 克

## 土曜授業参観及び人権講演会のご案内

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申しあげます。

平素は、本校の教育活動の推進に、ご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、土曜授業参観と人権講演会を次のとおり実施いたします。なお、人権講演会については、PTA成人人権委員会との共催となっております。保護者の皆様には、ひとりでも多くご参加いただきたくご案内申し上げます。

### 記

1. 日 時 平成 29 年 12 月 9 日 (土) 第 1 時限 授業参観 学活  
第 2・3 時限 人権講演会
2. 第 1 時限 (8:50～9:40)

| 学年  | 組   | 教 科 | 担当者 | 場 所 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 年 | 1 組 | 英語  | 西   | 教室  |
|     | 2 組 | 社会  | 土倉  | 教室  |
|     | 3 組 | 理科  | 谷口  | 教室  |
| 2 年 | 1 組 | 数学  | 大西  | 教室  |
|     | 2 組 | 英語  | 五島  | 教室  |
|     | 3 組 | 国語  | 福田  | 教室  |
| 3 年 | 1 組 | 理科  | 康原  | 教室  |
|     | 2 組 | 数学  | 高藤  | 教室  |
|     | 3 組 | 社会  | 笹田  | 教室  |

3. 第 2・3 時限 (9:50～11:45) 人権講演会  
場所： 大阪市立淀川中学校 体育館  
講師： 森松 明希子さん (裏面に講師のご紹介を載せていますので  
ご覧ください。)

「母子避難 心の軌跡～いのちより大切なものはありません～」

4. 下校 12:00 ごろ

※当日、入校証とスリッパをご持参ください。

# 原発避難生活 思いを一冊に



冊子「3.11避難者の声～当事者自身がアーカイブ～」と森松明希子さん＝大阪市北区

東京電力福島第一原発事故から11日で7年。事故後に避難した人たちが、避難生活の裏顔や心機の変化などをつづった冊子「3.11避難者の声」を制作した。「当たり前の日常を奪われたままの人たちの声を、多くの人たちに知ってほしい」との思いを込めた。

## 震災6年 奪われた日常

関西を中心とした避難者たち、この子たちを守ったネットワーク「東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream」がまとめた。これまでの集まりで寄せられた体験談、いじめ問題などについての手紙のほか、国や東電に損害賠償を求めた全国集団訴訟で提出された原告の意見陳述書、原発に関する映画の避難者による評論、大学師生による避難者への聞き取り調査……。様々な切り口で、原発事故が引き起こした問題を浮かび上がらせている。この子たちの責任を国は取

## 不安・いじめ…母子ら切実

だがふるえてないでしまします(福島県いわき市から埼玉県に母子避難している小学生の意見陳述書)そこで火事が起きているのに逃げない人がいるのではありませんか。消火できていないのに戻る人がいるのでしょうか(茨城県から大阪府に母子避難している女性)会を設立した森松明希子さん(43)は、福島県に夫を残し、大阪府に子連れで避難している。「もし自分の日常に原発事故が起きたら、と想像力で引きつけて考えてほしい」

△6判127円、カンパ協力金として600円。事務局にメール(sandorits@bmail.com)で注文できる。会では、避難者を取り巻く問題について考える催しを9、10、13日の午前10時(初日のみ正午)～午後6時、大阪・梅田の阪急三番街で開く。各日午後1～3時、「3.11避難者を助けてフリーマーケット」と題した企画も(定員16人)。問い合わせは事務局の別のアドレス(sandorits2014@gmail.com)へ。(高橋博子)